

ネット環境の利用についての申し合わせ事項

1 夜9時以降の利用禁止(友人へのメールやLINEでのやりとり、ゲームなど)

＜大きな3つの課題＞

①ゲームに夢中になる

友だちの間での順位が出たりするので夢中になりやすい。学力低下や健康への害、無料だと思っていたオンラインゲーム代が10万円になったりする「知らないうちに有料アイテムを購入」などの問題もあります。

②夜寝るのが遅くなる

人とのやりとりなので自分の意思だけではなかなかやめられません。メール等が既読なのに返事を返してないとトラブルになることがよくあります。

③いつでも携帯電話やスマホなどが気になる

現在日本でのネット依存症の患者数はおよそ270万人程度いると言われており、「メールでの返事が来ない」などの理由で友人や家族との人間関係が悪化している例が多数あります。ネットいじめやグループ外しなども社会問題になっています。

2 個人情報掲載の禁止(顔写真や詳しいプロフィールなど)

悪用されアダルトサイトなどに転載された例が多数あります。一度出回れば画像や個人情報は世界中に広がり回収は不可能です。

3 悪質な書き込みの禁止(誹謗中傷や個人情報の無断公開など)

犯罪であり、法律による処罰の対象です。食品店の冷蔵庫の中で撮った写真などを面白がってネットに載せ、逮捕され損害賠償を要求された例もごく最近あります。

4 フィルタリングを必ずかける 解除しない(携帯、スマホ、ゲーム機などネット利用できる機器全てに対して)

県の条例で18歳未満についてはフィルタリングの利用が定められています。危険なサイトにアクセスし凶悪犯罪に巻き込まれて命を失う事件が多数報道されています。

5 家庭でのルールを決める(“ネット利用は子ども部屋ではなく必ず居間で行う”など)

子どもに遠慮して問題があっても口を出さず、結果的に我が子の人生を狂わせている家庭も少なくありません。ネット環境に関する問題は子どもだけでは解決できないものがほとんどです。携帯電話・スマートフォン・ゲーム機などは保護者が子どもに与えているものであり、家庭内のルールを守れなければ、没収か解約を行うのが当然です。

()のルール